

# 子どもとケータイ

山形大学 学術情報基盤センター 准教授

加納 寛子

## ケータイを所有する理由

文部科学省が平成二十二年二月二五日に発表した「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」によれば、小学六年生の24・6%が携帯電話を所有しており、所有する理由のナンバーワンは、「保護者から持つように勧められたから」で46・7%、さらに「塾や習い事をはじめたから」41・4%がつづきます。また、中学生の45・9%、高校生の95・9%が携帯電話を所有し、所有する理由のナンバーワンは「友達が持っているから」という理由で、高二の44・6%、中二の38・4%がこの理由を選んでいます。小学生は安全のために親が子どもに与えている場合が多いようですが、中高生になると、安

全のためというよりも、友達が持っているからと明確な目的がないまま所有し、ネットいじめや不正請求などさまざまなケータイがらみの問題が浮上してきています。日本ほど子どもがケータイが問題になっている国は、見当たらないように思われます。

よほど日本の子どもだけが携帯電話を持っているのだろうかと考える人もいるかもしれませんが、しかし、二〇〇七年の時点でアメリカのティーンエイジャーのおよそ60%が携帯電話を所有し、一日当たり平均一時間を費やしているという報告があります。<sup>(注1)</sup> 同報告によれば、日本と同じく、ネットいじめや精神衛生上の問題、眼精疲労等も問題点として指摘されています。また、ニューヨークのロイター通信の報告により<sup>(注2)</sup>すと、子どもに携帯電話を持たせる理由のナンバーワンは

「安全のため」で78%がこの理由を選んでいきます。

アメリカの方は小中高に分けた形でデータが提示されていないので単純には比較できませんが、携帯電話の所有率は、日米に大きな差はないでしょう。また、韓国の一二歳の子どもの携帯電話所有率は、87・7%で、日本やアメリカよりずっと高い保有率で、韓国の子どもにとって携帯電話は生活必需品となっています。しかし、携帯電話を所有する理由の方は、明らかに違いがあります。日本の場合、中高生の大半は、生活必需品として携帯電話を持つという意識はありません。それ故、大人の対応や意見も大きく違うのです。アメリカの場合は、主に安全のために携帯電話を持たせているという意識が高いので、多少ネットいじめなどの問題が起きても禁止という議論にはなりません。一方で、日本の場合、中高生の携帯電話を持つ理由として「友達が持っているから」がトップの理由であり、高校生の二番目の理由は「生活が楽しくなると思ったから」となっています。このような理由を聞けば、たいした必要もないのに、問題だけ引き起こすので禁止しようという議論も出ました。

しかし、既に所有してしまっている子どもが多数いる中で、学校への持ち込み禁止だけを推進させたならば、問題は水面下に潜ってしまい、ますます大人の目の届かないところで、子ども同士傷つけあったり、不用意な操作で被害が拡大するばかりです。禁止するよりも、利用実態を継続的に視覚化しチェックできる仕組み作りを行い、きちんと指導することが

重要です（指導のポイントは後述）。

今では、ほとんどの携帯電話にGPS機能が付いており、保護者が、子どもの居場所をいつでも検索できるようになっています。まっすぐ家に帰っているのか、問題が起きていないか、保護者は携帯電話を子どもに持たせておくことで、いつでも監視できるため、学校の登下校時こそ、携帯電話を子どもに持たせておくことに意義があるはずで、当然学校内では必要がないはずなので、日直が朝の会の時に全員の携帯電話を回収して、帰りの会で配布する等の対応を取れば、学校への持ち込みを禁止にする必要はありません。

もう一度、保護者・学校・子どもの三者で、なぜ、携帯電話を持つのか、目的を明確にすることが重要でしょう。

### なぜ日本では子どものケータイ利用が問題になるのか

ざっくりとした比較では、日本の子どもの携帯電話保有率が特に高いわけではありません。日本以外の国の子どもは、携帯電話を持っていても、日本の子どもほど携帯電話に執着しないのです。子どものケータイといえば、料金以外はほとんど問題になりません。なぜ日本の子どもは、ケータイを愛用するのでしょうか？ 問題になるのでしょうか？

もちろん理由はいろいろあります。前記「ケータイを所有する理由」で述べたように、携帯電話を所有する目的が明確であるか否かも重要な点でしょうが、前述の他の国々との決

## ネットいじめとケータイテラシー

定的な違いがあります。つまり、それは日本においては、情報リテラシー、教育の情報化が、遅れていることにあります。進んでいると勘違いしている人も多い点ですが、ますます、後れをとっている原因にもなっています。

子どものパソコンリテラシーに関する日米比較では、日本の子どもの66・7%が初心者だと答えています。アメリカは6%にすぎません。一方、いろいろなソフトを使いこなせる上級ユーザー以上の日本の子どもは、5・6%しかいませんが、アメリカは45・5%<sup>(注3)</sup>います。

パソコンは、絵を描いたり文章を書いたり、人とコミュニケーションを取ったり、調べ物をしたり、時には遊んだりする便利なツールです。一〇年ほど前の『キンダーガートン・コップ』というアメリカ映画では、幼稚園児がパソコンで遊ぶ場面が出てきます。パソコンという便利なツールが、筆記用具のように身近で、使いこなしている子どもにとっては、あまりケータイは魅力的なツールではないのです。

四月に大学一年生の授業を担当するときには、毎年必ず、「ケータイをいつ持ち始めたのか」尋ねます。五〇名程度の受講生の中に、大学に入学して一人暮らしを始めるまでケータイを持っていなかった学生が、必ず六〜七名います。高校生の九割以上がケータイを持っている時代に、かなり多い人数です。ケータイに関して特別厳しい学校に通っていたわけではなく、その多くが、「クラスでケータイを持っていなかったのは自分だけ」と答えます。そのほとんどが、経済的に

も比較的恵まれた家庭の子どもです。彼らが「ケータイを持たなかった理由」は、大きく三つに分けられます。

・(おとなしいタイプで)、ケータイメールをやりとりするよ  
うな友達がいなかった。

・(活発なタイプで)、周りの誰かが持っているから、どうしてもケータイが必要なきときは、借りれば十分。

・学校から帰るといつもパソコンに向かっていたから、友達からもパソコンのメールに送ってもらっていた。サイト閲覧も、ケータイのような小さな画面より、パソコンの方が見やすい。小さな画面ばかり見ていると、視力低下が心配。

三つ目の理由は、欧米や韓国の子どもとおそらく共通するタイプでしょう。パソコンで、勉強も遊びも情報交換も行う子どもにとって、携帯電話は、画面が小さくて、通信速度が遅い不便な道具にしか過ぎないのです。日本の子どもたちも、教育や日常のあらゆる場面でパソコンを使いこなすようになり、情報リテラシーが高まれば、自然に携帯電話からは離れていくでしょう。

## ケータイ指導のポイント

すでに携帯電話を身体の一部のように、便利に使いこなしている子どもから、携帯電話を取り上げたり引き離す必要はありません。以下に示す「ケータイA to Fのルール」を守れば十分です。

- ・目標 (Aim) を明確にすること
- ・ルールや約束事を話し合いつつこころづくること (Build)
- ・継続的な (Continuous) 子どもの見守り (ルールのチェック) を怠らないこと

- ・日頃から話し合い (Discuss) を行うこと
- ・トラブルが起きやすい状況について教えること (Education)
- ・フィルタリング (Filtering) をつけること

子どもの見守りは、生活を共にしている親が行う以外にありませんが、トラブルが起きやすい状況について教えることは、グループディスカッションなどを取り入れつつ、学校で行った方が効果的かも知れません。

最近では、警察庁も経済産業省も文科省も、こぞって子どものケータイ・ネット防止のためのビデオや漫画などの冊子を作成し、各地で安全教室が開催されています。全くネットの安全に注意が払われていなかった初期の段階としては、非常に効果のある啓発活動ですが、ビデオを見せたり話を聞かせたら十分だと満足してしまっている保護者や教員の様子が、時々気がかりに感じます。既に子どもたちも、頭では危険なサイトに近づいたり誹謗中傷をしてはいけないと分かっているわけですから、これからのケータイ指導は、ケータイ・ポートフォリオ(後頁参照)などをつくり、子どもの利用実態をこまめに見守ることが重要です。子どもは悪い行為でないと思っただけでも、相手を傷つけてしまったりすることはよくあります。また、「URL」「IP」<sup>(注4)</sup>などという、プロフなどへの

書き込みを見つけたら、迅速な対処が必要です。某かの書き込みはしていけませんといくら説明しても十分ではありません。とても手間暇のかかることですが、一人ひとりの行動を見守るきめ細かな指導が必要な時代なのです。

#### 参考文献

- (1) Cell Phones, Center on Media and Child Health, 2007 (<http://www.cmch.tv/mentors/hoTopic.asp?id=70>)
- (2) Safety top Reason for buying Children Cell Phones Posted on Thu, 20 Dec 2007 by Luigi Lugmayr (<http://www.i4u.com/article13665.html>)
- (3) 「日米子どものインターネット利用調査」(2007・11) 加納寛子、有限責任中間法人ブロードバンド推進協議会セキュリティ専門部会
- (4) これはギャル文字で「しにたいよ」と書いています。子どものネット・ケータイにかかわる生徒指導のためには、ギャル文字や子どもたちの隠語・略語などへの理解も必要です。ギャル文字変換などは、下記サイトを参考にしてください。 (<http://pbdspace.kj.yamagata-u.ac.jp/gyalmoji/>)

**かのう・ひろこ** 専門は情報教育。主著に『ケータイ不安く子どもをリスクから守る15の知恵』(NHK出版)、『ネットジェネレーションのための情報リテラシー&情報モラルくネット犯罪・ネットいじめ・学校裏サイト』(大学教育出版)、『誰でも良かった殺人が起る理由―秋葉原無差別殺人事件は何を問いかけたか』(日本標準ブックレット)、『情報社会論く超効率主義社会の構図』(北大路書房)等がある。

# ネシユラウリオウケイコトハナ

## ケータイ・ポータフォリオの説明書

ポータフォリオ作りをはじめよう！

### 1. ポータフォリオって何だろう？

ポータフォリオとは、自分が努力したり、試行錯誤したり、問題を克服したりした記録を保存しておき、時々見直すときに、自分の得意なところや足りない部分を教えてくれるアドバイザーのような役割を果たしてくれるツールのことです。

ポータフォリオを使った評価は、イギリスやアメリカで始まった評価法で、自分が成長するために、自分の学習を、自分で評価していきます。しかし、独りよがりな評価では自己満足で終わってしまいます。そこで、自分以外の人（お母さんや、お父さん、学校の先生や友達など）からの評価も重要になってきます。また、友達のポータフォリオを見せてもらうことは、自分の成長にもつながります。

そして、子どもを子ども扱いしないことがポイントです。食事中には電話に出ないなど、子どもに守らせたいことは、親も守るようにしてください。

### 2. ポータフォリオの作り方

#### ●はじめに用意するもの

フォルダ・付箋・ケータイ契約書・毎日の記録・ケータイ契約書 チェックリスト

#### ●方法

はじめのうちは、居間などに、家族のケータイ置き場を決め、自室に持ち込まない方がいいでしょう。睡眠中や食事中などに、ケータイ置き場に置く習慣をつけてください。家族全員のケータイを並べておくようにしましょう。

親子、あるいは、学校の先生と生徒の間で、ケータイ契約書を交わします。

ケータイ契約書をフォルダのはじめに挟み、ケータイの利用方法や、実際に利用したことを毎日記録し、フォルダに挟んでいきます。

これは、適切にネット・ケータイを使えるようにするためのトリーニングです。発達段階に応じて、契約書の内容を更新してもかまいません。

初めのうちは、子どもが書いたものを親が点検するのではなく、親子で一緒に確認しながら書いていってください。慣れてきたら一人で書いてもかまいません。

ケータイは、家族の持ち物とし、子どもに貸し与えるものというスタンスにしてください。貸し借りの契約を結ぶわけです。そのため、契約を破った場合は、すみやかに返却することにしてください。決して、ペナルティーとして取り上げるわけではありません。

○ケータイ契約書の例  
(与えるのではなく、子どもに作らせることがポイントです。守れない契約はしないでください。)

### 親子ケータイ契約書

1) 私が、ケータイを持つ目的は、下記の通りです。

- 2) 平日の利用時間は\_\_\_\_\_以内、休日の利用時間は\_\_\_\_\_以内とします。
- 3) 緊急時以外、食事中・勉強時間・入浴中・睡眠時間には、ケータイを利用しません。
- 4) ケータイのフォルダリングは、絶対にはずしません。
- 5) インターネットへアクセスするときには、家族の居間で利用します。
- 6) このサイトへのアクセスしたのか、毎日、お父さんお母さんへ報告します。
- 7) 怪しいメールが届いた場合は、すぐにお父さんお母さんに相談します。
- 8) 利用料金は、1ヶ月\_\_\_\_\_以内とします。
- 9) ケータイ・ポータフォリオを、毎日欠かさず書きます。
- 10) ケータイ・ポータフォリオを書いたあとは、ケータイ置き場に置きます。  
以上の契約を破った場合は、ケータイの契約を取り消したものと見なし、ケータイを返却します。

契約日 年 月 日

署名 (子どもの名前)

(保護者の名前)

ケータイ契約書 チェックリストの例

	1)	2)	3)	4)	5)	6)	7)	8)	9)	10)
月日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
月日										
月日										

内容の記録例 今日の利用はどうだったかな？ 振り返ってみよう！

件数	受信	送信	相手	内容	そのときの気持ち (マークに印を付け、言葉でも説明しよう)
1	メール		さとみちゃん	冬休みの宿題の確認	○宿題のことを思い出して、少しきつしかったです。 △
2		メール	さとみちゃん	冬休みの宿題の確認	○宿題のやり残しがないことがわかって、安心できました。 △
3	電話		おばあちゃん	お正月に、おばあちゃんのおうちに、図書館の本を忘れてきたみたい、届けてくれるって。	○よかった！ △
4	メール		知らない人	まゆみです。 今日の私見てね！ http://abc.de だって。	○ △私の知っているまゆみちゃんのアドレスと違うから、着信拒否に設定しました。
5	メール		お母さん	帰りが少し遅くなるから、ご飯炊いておいて、だって。	○ △しようがないなー ×

ブログなどを作った場合は、画面のコピーなども挟み込む。

例)

今日はブログ作ったよ！どうかなあ？



【保護者から見た利用の様子】  
ブログは、世界中の人に公開するものだから、住所や、誕生日を書いたのはよくないよ。  
母より

「ケータイ置き場」のイメージ図  
居間など家族のいる部屋に、設置するとよい。

